

怪談の
聖地コース

course 1

知られぬ日本の面影コース

ような
あるねー

ゆるやかなカーブと
擬宝珠(ぎぼし)が
印象的

源助さん・・・
胸がつまります

5.龍昌寺(りゅうしょうじ)

八雲が好きだった羅漢像がある。
以前は、108の羅漢像があったそう。
境内には、住職が子どものころに登って
宍道湖の方まで見渡していたという大きな
イチチョウや、季節を彩る桜や藤も。

4.源助柱記念碑

松江大橋をかけようとするがうまくいかず、源助という男が人身御供（ひとみごう）となったと伝えられる。

3. 松江大橋(17代目)

明治24年の4月、八雲は第二の宿の2階から、友人と一緒に第15代目の松江大橋の開通式を見た。

※小泉八雲、小泉セツ、小泉八雲記念館、小泉八雲旧居の写真提供＝小泉八雲記念館、小泉セツ座姿の写真提供＝小泉家

セツとハ雲の
日々の暮らしや
会話など、セツに焦点を
当てた展示開催中

境内には
茶室「観月庵」も

落ち着く～

3. 普門院(ふもんいん)

「小豆磨(と)ぎ橋」の怪談で知られるお寺。八雲は、普門院の当時の住職を自宅に招いて話を聞いた。

4. 島根県尋常中学校校跡

英語教師として八雲が赴任してきた尋常中学校は、今の県警本部庁舎の場所にあった。

2.小泉八雲旧居

湖岸の第二の宿からセツと引っ越し、松江で新婚時代を過ごした武家屋敷。好きだった庭を静かに眺めていると、二人の姿が目に見えよう。

ハ雲のように
書けるように
なりたいなー

頭をなでると
長生きできるとか。
そっとなでてきました♪

「母の愛は死よりも強し」
by 八雲

5.月照寺(げっしょうじ)

セツによると八雲が「一番好きです」と語ったお寺。六代の廟門(びょうもん)内にある大亀の石碑・寿蔵碑(じゅざうひ)にまつわる伝説を随筆の中で紹介している。

抹茶を一服

歴代藩主の廟がある月照寺で、庭を眺めながら、抹茶をいただく。八雲はもちろん、歴代藩主にも思いをはせながらひと休み。

6.大雄寺(だいおうじ)

墓の中で赤ちゃんを生んだ女が、赤ちゃんのために幽霊となって水飴を買いに来ていた怪談「飴をかう女」の舞台。

8. オープン・マインド・オブ・ ラフカディオ・ハーン

境内には
稲荷神社なども

高台で、鐘の音も
響き渡りそ～

の音も
そ～

6.天神・白湯界限(かいわい)
白湯天満宮のある天神、白湯
本町の辺りは、八雲が好き
だった散策エリアのひとつ。

7.洞光寺(とうこうじ)

八雲が気に入って、作品にもたびたび登場したお寺。
松江到着の翌朝、聞こえてきたのがこのお寺の鐘の音。

ハートになっ
てるーっ!!

ゴォ〜〜

羅漢さんの表情が
北斎漫画みたいー

羅漢さんの表情が
北斎漫画みたいー